

事務事業名	道路新設改良事業	整理番号	33105-050
所管	土木課 企画調査・登記スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	昭和 61年度 ~ 年度	根拠法令・要綱等	道路法
基本計画における位置付け	基本政策	3-3 歩行者と環境に配慮した交通体系の整備	関連政策
	政策	3-3-1 道路網の整備	

事務事業の内容

目的 (何のために)	歩行者にも安全な道路、利便性の高い道路網の整備を進めるとともに予想される東海大地震等の災害発生時の被害を最小限に抑えるための避難路の確保を目的とする。
対象 (誰・何を)	市道を利用する市民
手段 (どのようなやり方で)	道路新設、改良、舗装
成果 (どのような状態にしたいか)	地域活性と住環境の向上を図るとともに市民の生命、財産を確保する。
事務事業の背景・住民の意向	市道の改良・舗装率が低く、市民から道路整備の要望が多く出されている。財政状況の厳しいなか、緊急性等の優先度をみながら順次整備を進めている
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成18年度	改良9カ所 改良舗装5カ所 舗装9カ所 L = 2,889.6m	
平成19年度	改良13カ所 改良舗装4カ所 舗装6カ所 L = 2,614.4m	
平成20年度	改良14カ所 改良舗装5カ所 舗装9カ所 L = 3,119.7m	

評価指標

舗装延長(m)	舗装率(%)	施工1m当たりコスト(千円/m)
H18 H19 H20 H25目標	H18 H19 H20 H25目標	H18 H19 H20 H0目標

事務事業の評価

担当部署の評価		コメント
観点別評価	必要性	面的整備が望めない現状では、既存の道路を整備することで生活環境を改善させる必要がある。
	有効性	
	効率性	
総合評価	B	今後の方向性 継続

改革プラン

平成21年度からの対応	国庫補助事業を中心に事業を行う。要望箇所については、市が優先順位をつけ実施する。各地区に1, 2本の路線を実施する。
平成22年度以降の対応	国庫補助事業を中心に事業を行う。要望箇所については、市が優先順位をつけ実施する。各地区に1, 2本の路線を実施する。
改革により予想される成果	財政状況が厳しい中、必要性の高い路線を中心に事業を行う。

事務仕分けの結果

仕分け区分	今後の方向性・具体的な対応
市の実施(改善)	<ul style="list-style-type: none"> 市単独道路整備事業については、平成21年度で完了する路線が多いため、地元説明会等で実施を明確にした路線、交通安全上、特に整備を必要とする路線を除き、原則として実施を見合わせる。 国の交付金による道路整備は、ある程度継続性があるが、直近の2年間は、できる限り事業費を縮減する。 防衛9条事業、地域関連道路整備事業の活用を図る。 道路行政は、建設水道部として全体計画の優先順位等を検討し、方針決定すること。 区長からの要望や陳情は、支所長経由とすること。
仕分け理由	
市単独の道路整備であり、多額の市費と市債を充当しており、また事業の継続性から見ても、縮減が可能である。	